

杉井ギサブロー 大塚康生 手塚治虫 山本暎一 りんたろう 高橋良輔 明田川進 丸山正雄 伊藤叡 原正人 前田庸生 馬郡美保子 田代敦巳 藤田健 桜井宏 古川雅士 藤山房伸 江口摩史介 李普螺 瀬谷新二 篠崎亨 ブンサダカ 阿部行夫 はしもとなおと (登場順)

製作:石岡正人/赤坂博/松谷孝征 プロデューサー:朱京順/藤田敏夫 機影:伊藤畯太/山本征宏/臼井文子 機影応援:製島淳裕/中村優/石井健太 助監督:伊藤畯太 音楽:渡邉崇 制作進行・デスク:中丸敷 アニメーション制作:山本征宏 カラーリスト:川生誠 ポストプロダクション・プロデューサー:川原伸 MAエンジニア:上林俊哉 整音:角田利雄 DCP制作:Tanel Viksi 監督:規影・編集:石岡正人 会文化芸術振興費補助金 制作:ゴールド・ビュー 製作:「アニメ師・杉井ギサブロー」製作委員会(ゴールド・ビュー/京都積華大学/手塚プロダクション) 海外配給:ゴールド・ビュー 国内配給:マコトヤ

©2012「アニメ師・杉井ギサブロー」製作委員会

いつもみんなの心を躍らせてきた

ニメ師・杉井ギサブ

「鉄腕アトム」「どろろ」「タッチ」…誰もが夢中になった テレビアニメの数々、そして『銀河鉄道の夜』で未曾有 の頂点に達したアニメーション界の巨人、杉井ギサブロー の素顔に迫ったドキュメンタリー。

O D V



手塚治虫がもっとも頼りにした規格外人間。

1940年、沿津市生まれ・原宿育ちのアニメーション監督、日本画家。ディズニーの『バンビ』を見て以来アニメを志し、小学校と同 時にマンガを卒業。東映動画で、日本初の総天然色長編漫画映画『白蛇伝』に参加し、やがて虫プロに入社。手塚治虫に深く影響を 受け、彼を父のように敬愛する一方、時には臆することなく真っ向から異を唱えもした。杉井に寄せる信頼は、手塚の「ぎっちゃ んがもうひとりいてくれたら」との言葉からもうかがえる。23歳の若さで日本初のテレビアニメシリーズ「鉄腕アトム」の演出・ 作画を担当、「ルパン三世」のパイロット版を制作し、以降「どろろ」「悟空の大冒険」『千夜一夜物語』など常に新しい表現を追求し ていく。'69年、アニメーション制作会社、グループ・タックの設立に参加し、劇場用映画に携わるも、やがて10年にわたる放浪の旅 - 。復帰後には『銀河鉄道の夜』『源氏物語』「タッチ」といった鮮烈な作品群でブランクを吹き飛ばし、21世紀の今、9.11を見聞

意欲と情熱の日本アニメーション史がここに。

杉井の人生は戦後日本のアニメーション史そのもの。手塚治虫、大塚康生、山本暎一、りんたろうといったアニメ史上の有名人たちが 証言し、数々の名作アニメ映像が挿入される。それまで子供が見るものでしかなかったアニメを日本の一大産業に育てていった人々 とその時代。その中心に居続けるアニメーション界の巨人・杉井。本作では、そんな彼の姿とともに、職人的な情熱と創意工夫に満ちた



「当たらないものを当てたいんだよね」

うなスタイルやジャンル、画風といったものは、杉井のアニメーションには存在しないのだ。同様に、杉井は徒党を組まず、君臨 しようともしない。より面白いものを作るために孤高の職人でいるだけだ。まず「壊す」、そして何度でも「壊す」。挙句にこのパ ンクなアニメ師は言う「俺に任せろってんだ」と。



待望の石岡正人ドキュメンタリー最新作。

対象と一定の距離を保ちながら、存在に寄り添い侵すことなく内面に肉迫するという、ドキュメンタリー監督としての石岡正 人(『YOYOCHU SEXと代々木忠の世界』)の本領が遺憾なく発揮された本作。目線はあくまでも石岡らしい優しさをにじませなが ら、同時に信頼や尊敬、あるいは畏怖を堪え、あたかも自身のハードルとしての兄貴を見つめるがごときだ。本作は、杉井の人生 哲学を歩んでみようとする石岡の旅の記録でもある。









たまには、スケールのでかい人間を見てみよう

私たちにはまだまだ数多くのいいことが待っているはずだ"ということに気づかせてくれる。それが、私たち自身の中に眠っている"何か"なのだということも。

特別鑑賞券発売中!!1,500円[[当日一般1,800円のところ]※表示金額はすべて税込

劇場窓口にてお買上げの方に特製ポストカード付

銀座三越先歌舞伎座手前

近鉄東寺駅西へ150m

京都みなみ会館

075(661)3993 kyoto-minamik

杉井監督最新作

『アニメ師・杉井ギサブロー』公開記念

| 関東地区 | ◎ 「銀河鉄道の夜」7/14(土) ~ 銀座シネバトス ◎ 杉井監督テレビアニメ作品 上映企画中 ブリリア ショートショートシアター | 関西地区 | ◎ 「銀河鉄道の夜」8/25(土) ~ 京都みなみ会館 ◎ 「アニメーション監督 杉井ギサブロー展」7/26(木) ~ 8/19(日) 京都国際マンガミュージアム

7/7(土)より全国公開